

何度でも学びたい量的研究に必要な基礎知識

臨床現場での疑問（クリニカルクエスチョン）は、科学的に答えられる問題（リサーチクエスチョン）に翻訳し、量的なデータから答えを探索・検証する研究によって解決することが必要です。

研究の理解・適切な実施のためには、リサーチクエスチョンに対し、量的データをどのような研究デザインによって得るか、得られた量的データに対してどのような統計手法を選択するのか、を統計学的観点から理解することが重要です。

本セミナーでは、研究デザインや統計学の基礎知識を学ぶことにより、受講される方々の研究の質が向上することを期待します。

対象者	医療系・看護系大学等の大学院生や教員、看護師・保健師・栄養士・医師などの医療従事者などを中心に、関心のある方はどなたでも受講できます。	
開催日時	2023年 12月2日(土) 10:00～16:30 (裏面プログラム講義①、②、③) 12月16日(土) 10:00～16:30 (裏面プログラム講義④、⑤、⑥)	
開催方法	オンライン開催 (ビデオ会議ツール Zoom [®] を使用したライブ配信)	
プログラム	裏面を 1日や1講義のみでの受講のお申込みはできません。 ご覧下さい 2日間(全6講義)の受講となります。	
セミナーの特色	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各講義ごとに質問時間を確保しています。 ◆ ライブ配信を視聴できなかった場合や聞き漏らした場合でも、講義終了後、3週間のオンデマンド配信動画をご覧ください。 全講義①～⑥については、2024年2月1日(木)から2月21日(水)まで何度でも再視聴ができます。	
受講料	1. セミナー+副読本(特典あり) 23,500円(税込) 2. セミナー受講のみ(特典なし) 22,000円(税込) ◆特典の副読本について 本セミナーの講師陣が中心となり執筆した書籍『生物統計学の道標－研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講－』(2023年10月刊行、定価2,970円(税込))です。 本セミナーの理解を深める目的で掲載した『厚生指針』の連載に加筆・編集したものです。セミナー後の追加学習にも役立つ内容になっております。ぜひご活用ください。 なお、既にお持ちの方やセミナーのみにご興味がある方は「2. セミナー受講のみ(特典なし)」もお選びいただけます。 ◆上記1. 2. に共通して、講義スライド冊子をお送りします。	
申込方法	当協会ホームページの「医療職のための統計セミナーページ」の申込みフォームからお申込み下さい。 https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html お支払いは「クレジットカード支払い」又は、「請求書支払い」をご選択いただけます。2023年11月13日(月)までにご入金のご確認がとれない場合は、キャンセル扱いとさせていただきますのでご了承ください。	
申込締切	2023年10月31日(火) 定員300名程度(定員になり次第メ切)	
その他	受講者には、講義終了後「領収書」と「修了証」をお送りいたします。	

講師

米倉 佑貴

聖路加国際大学大学院
看護学研究科
准教授

上村 夕香理

国立国際医療研究センター
臨床研究センター
生物統計研究室室長

川原 拓也

東京大学医学部附属病院
臨床研究推進センター
助教

上村 鋼平

東京大学大学院
情報学環
准教授

篠崎 智大

東京理科大学工学部
情報工学科
准教授

坂巻 顕太郎

順天堂大学
健康データサイエンス学部
准教授



医療職のための統計セミナー

※ Zoom は、Zoom Video Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

〈お問合せ先〉

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号小伝馬町新日本橋ビルディング3階

TEL: 03-5623-4123 FAX: 03-5623-4125

当協会ホームページのセミナー・講座のお問合せフォームからお問い合わせ下さい。

ホームページ <https://www.hws-kyokai.or.jp/>

プログラム

配信日	時間	講義科目 (講師名)
12/2 (土)	10:00~11:30	講義① 量的研究のリーサークエスチョンと研究方法 (米倉 佑貴) 量的研究から意義のある成果を得るためには良いデータを得ることが不可欠で、そのためには良い研究計画を立てることが重要です。データ解析はデータを集めたあとで見直すこともありますが、データ収集のほとんどはやり直せません。この講義では量的研究の進め方、計画の立て方を概観し、データを取ったあとで後悔しないためのポイントをみていきます。
	13:00~14:30	講義② 研究デザイン (上村 夕香理) “知りたいこと (クリニカルクエスチョン)” をデータから評価するためには、研究開始前に研究の設計図を適切にたて、研究デザインを組むことが重要となります。この講義では、様々な研究デザインやそれぞれの利点・欠点、気を付けるべき落とし穴等について講義します。
	15:00~16:30	講義③ 記述統計 (川原 拓也) 適切にデザインされた研究で収集されたデータは、記述統計・推測統計の道具により整理されることで臨床に還元されます。この講義では、記述統計に焦点をあて、それぞれのデータが分類される型ごとに、データの要約方法の基礎を学ぶことを目的とします。さらに、要約結果を提示するための図表を作成する際のポイントや具体例を紹介します。
12/16 (土)	10:00~12:00 ※120分	講義④ 推測統計 (上村 鋼平) データが何らかの傾向を示した際に、偶然そのような傾向が得られたのか、真の傾向は何なのか、を知りたいということがあります。推測統計を用いると、データ (結果) の不確実性を考慮した上で、「2群の間に差がある」などの結論を導くことが可能になります。この講義では、推測統計のしくみと使い方について、具体例によるイメージを持ちながら、基礎から学んでいきます。
	13:00~14:30	講義⑤ 回帰分析 (篠崎 智大) 回帰分析の知識を身に着けることで、読める論文や実施できる研究の幅が広がり、一歩踏み込んでデータに向き合うことができます。この講義では、「回帰」とは何か、回帰を「モデル」で表すとはどういうことか、からはじまり、最小限の数式から気を付けるべきポイントをなるべく正確に理解することを目的とします。
	15:00~16:30	講義⑥ 検定 (坂巻 顕太郎) 不適切な方法で計算された p 値から研究の結論を導くことに対する批判が高まっています。p 値は検定の結果として得られるものですが、なぜ検定が必要なのか、どのような検定方法を選択すべきなのか、検定結果を適切に解釈するとはどういうことなのか、を理解しなければ、適切に研究結果を解釈することはできません。この講義では、How toではなく、検定の目的と適用上の注意点を理解することを目的とします。

- 両日とも3講義ずつ、ライブ配信 (開始 10 分前までに Zoom セミナールームにお入り下さい。)
- 2日間 (全6講義) の受講となります。1日 (1講義) のみでの受講はできません。
- 講義後、音声や Q & A^{*1} での質問が可能です (質問はライブ配信時のみ、講義内容に関するものに限りです)。
- ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信も視聴できます。

オンデマンド配信期間	12/2 (土) 講義①②③	2023年12月6日 (水) ~ 2023年12月26日 (火) ^{*2}
	12/16 (土) 講義④⑤⑥	2023年12月20日 (水) ~ 2024年1月10日 (水) ^{*2}
	講義①~⑥の再視聴	2024年2月1日 (木) ~ 2024年2月21日 (水) ^{*2}

※1 ビデオ会議ツール Zoom の Q & A 機能です。

※2 各オンデマンド配信期間は3週間の掲載予定。動画の録画状態により、配信期間を変更させていただく場合があります。

Zoom は、Zoom Video Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。